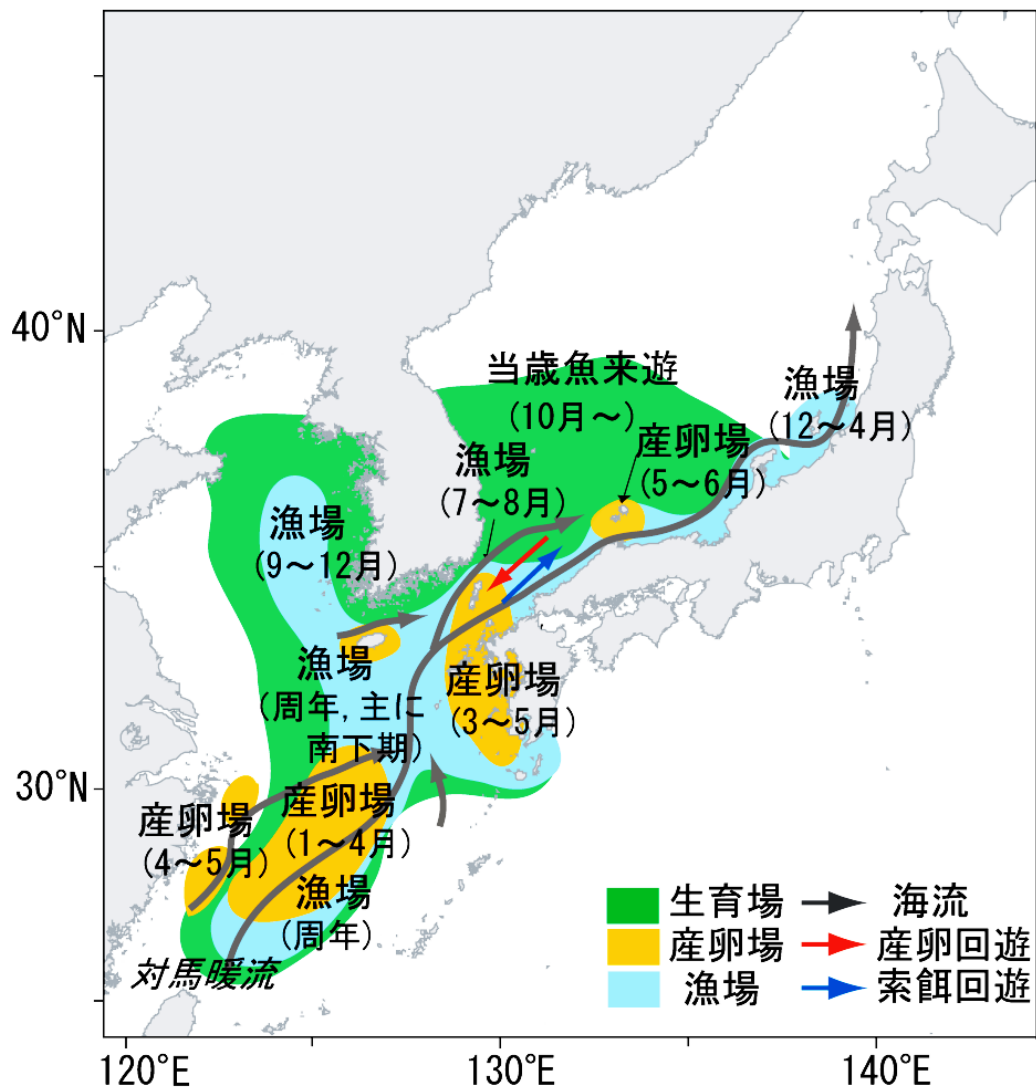




# マサバ対馬暖流系群 令和3年度資源評価結果

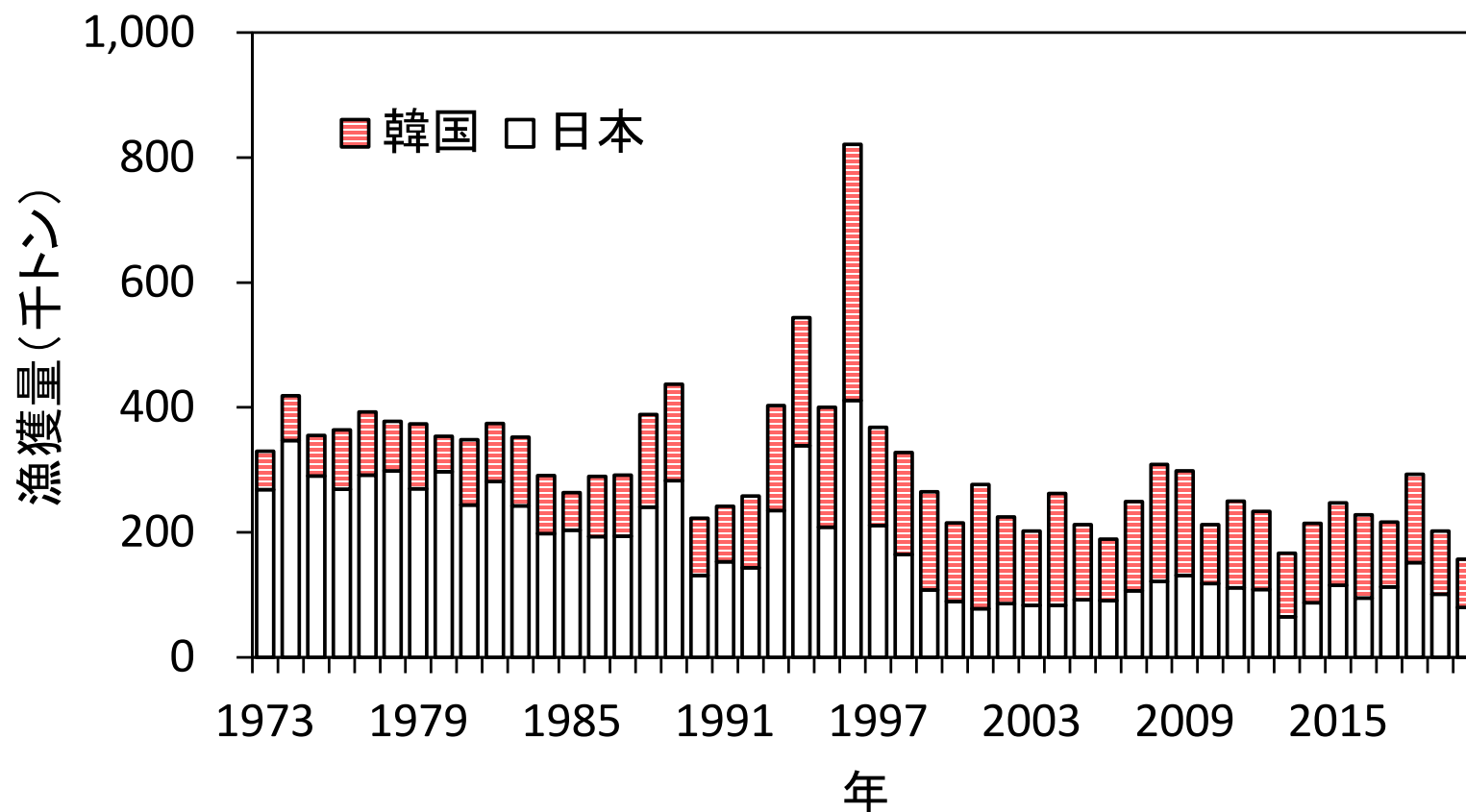
# 生物学的特性



## 生物学的特性

- 寿命：6歳程度
- 成熟開始年齢：1歳 (60%)、2歳 (85%)、3歳 (100%)
- 産卵期・産卵場：1〜6月、東シナ海南部の中国沿岸〜東シナ海中部、朝鮮半島沿岸、九州・山陰沿岸
- 索餌期・索餌場：東シナ海〜黄海・日本海、春〜夏季に索餌のため北上回遊、秋〜冬季に越冬・産卵のため南下回遊
- 食性：主に、オキアミ類、アミ類、橈脚類などの浮遊性甲殻類、カタクチイワシなど小型魚類
- 捕食者：稚幼魚は魚食性の魚類に捕食される

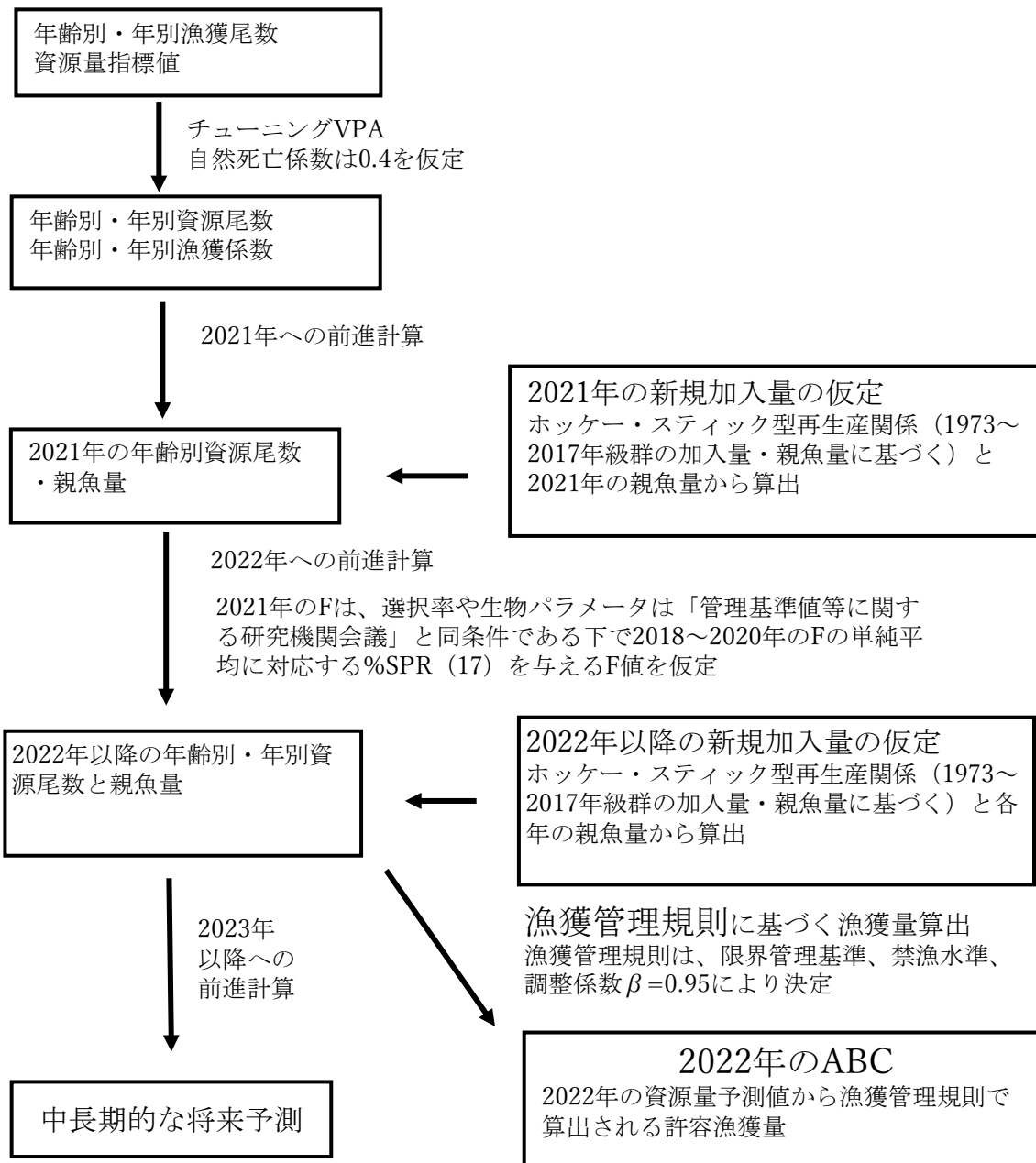
# 漁獲の動向



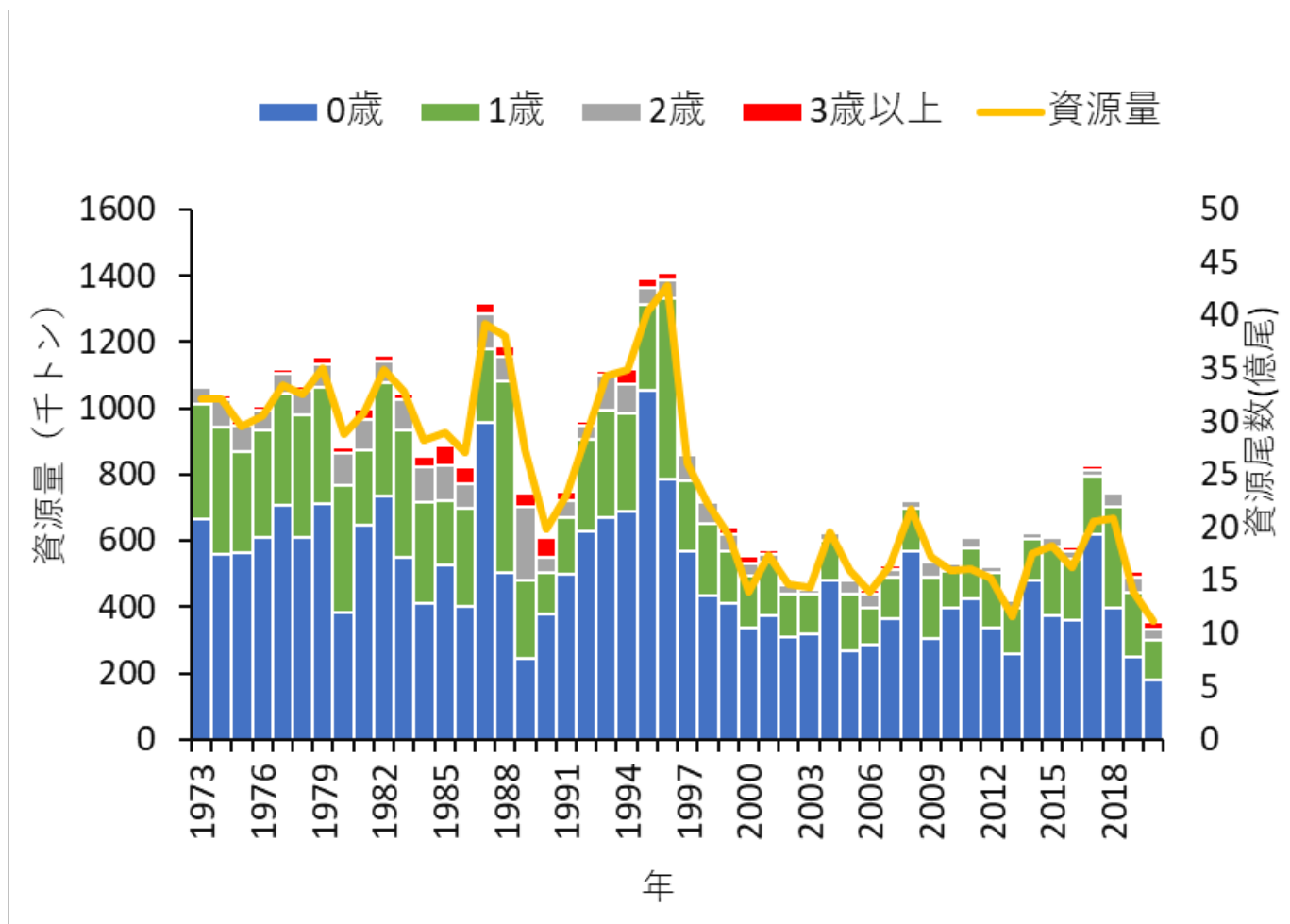
● 2020年の漁獲量 日本:8.0万トン 韓国:7.7万トン

※中国の漁獲は含まない

# 資源評価の流れ



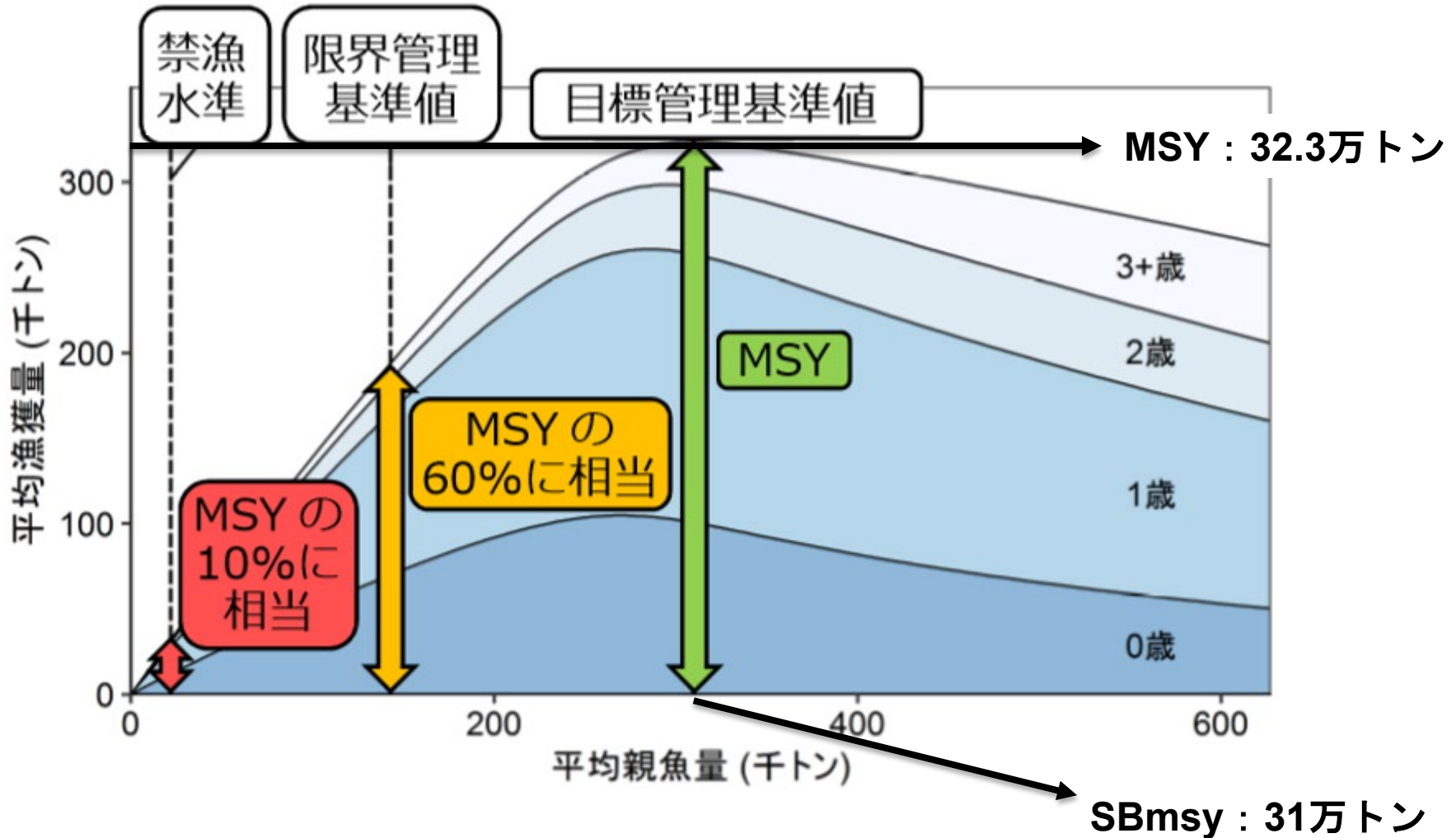
# 資源の動向



●資源量： 2019年は44.7万トン、2020年は35.6万トン

●親魚量の動向は「横ばい」

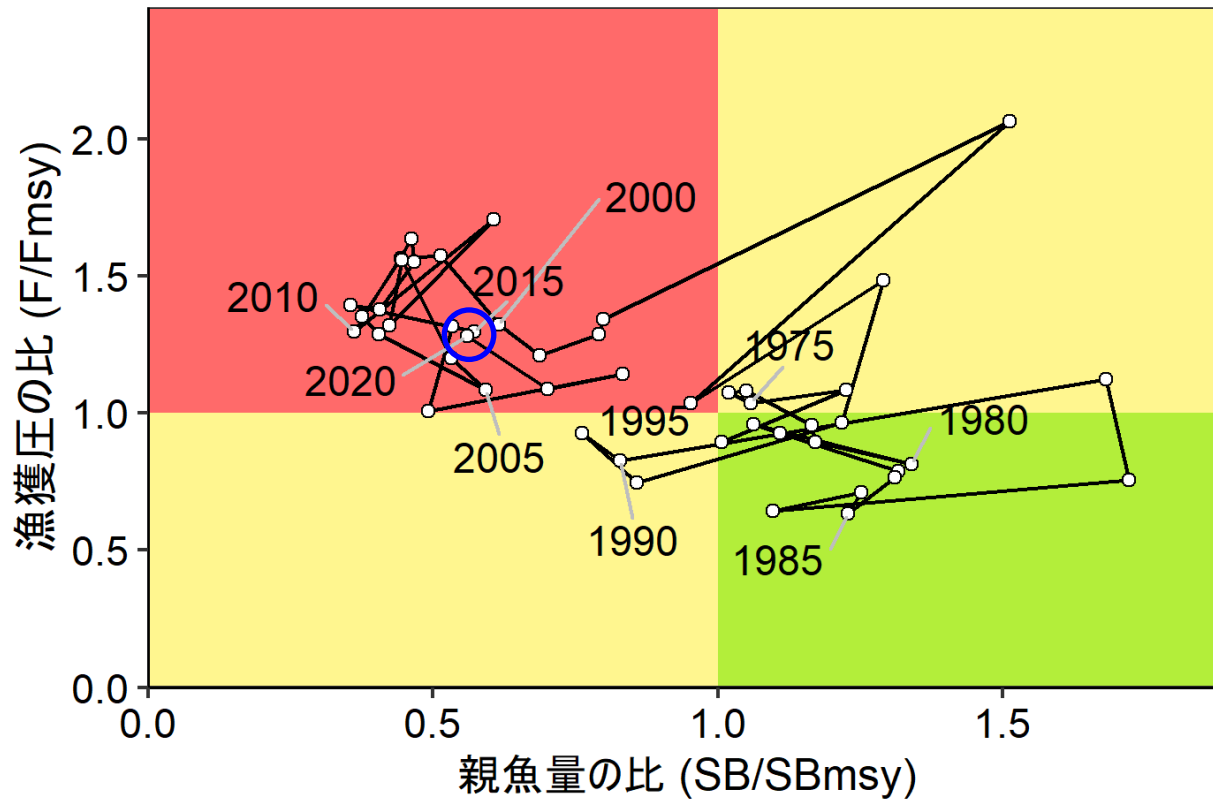
# MSY



●最大持続生産量 (MSY) : 32.3万トン

●MSYを実現する親魚量 (SBmsy、目標管理基準値) : 31万トン

# 神戸プロット(チャート)



※神戸プロット：資源水準と漁獲圧力について、最大持続生産量を達成する水準と比較した形で過去から現在までの推移を表示したもの

- 現状の親魚量：MSYを実現する親魚量を下回っている。
- 現状の漁獲圧：MSYを実現する漁獲圧を上回っている。

# 将来の親魚量及び漁獲量の推移

将来の平均親魚量（千トン）

2030年に親魚量が目標管理基準値(31.4万トン)を上回る確率

$\beta$	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2040	2050	
1.00	173	115	121	158	190	221	248	270	284	294	300	311	311	41%
0.95	173	115	121	162	199	235	268	292	308	317	322	329	330	54%
0.90	173	115	121	166	209	252	289	315	331	339	344	348	349	68%
0.80	173	115	121	174	230	287	334	363	379	386	389	391	392	89%
0.70	173	115	121	182	254	327	383	416	432	439	441	443	444	98%

将来の平均漁獲量（千トン）

$\beta$	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2040	2050
1.00	157	139	124	179	219	251	276	294	305	312	317	325	325
0.95	157	139	120	177	220	256	282	299	310	316	319	324	324
0.90	157	139	115	175	221	259	286	303	312	316	319	322	321
0.80	157	139	105	168	219	261	288	302	309	311	313	314	314
0.70	157	139	94	159	214	257	283	295	300	302	303	304	304

- 「資源管理方針に関する検討会」にて取りまとめられた漁獲シナリオ（ $\beta=0.95$ ）に基づき算出される2022年の漁獲量は12.0万トン。
- 上記の表は暦年（1月～12月）の値であり、2022年漁期（7月～翌年6月）の漁獲量は13.0万トン。